

第69回 ISO/TMB (技術管理評議會)報告

經濟產業省 産業技術環境局

国際標準課/基準認証経済連携室

平成29年7月18日

TMBの任務と議長・メンバー・事務局の紹介

1. 任務

- ISO規格作成に関する管理事務的事項
 - ✓ TC/SC/PCの設置・廃止、議長任命、幹事国割当、ISO/IEC専門業務指針の改訂等
- ISO規格作成に関する戦略的事項
 - ✓ 規格開発の効率化・迅速化、TC/SC戦略ビジネスプランの審議・承認、TC/SC活動の調整・モニタリング等

2. メンバー（出席者）

- TMB議長: Mr. Piet-Hein Daverveldt (オランダ)
- TMBメンバー (15名) :
Mr. Steven Cornish (米), Ms. Amanda Richardson (英), Ms. Ulrike Bohnsack (独), Mr. Alain Costes (仏), 松本 (日), Mr. Chenguang Guo (中), Ms. Karin Lindmark (スウェーデン), Mr. Urs Fischer (スイス), Ms. Susanna Vahtila (フィンランド), Ms. Nolwazi Gasa (南ア), Mr. Claudio Guerreiro (ブラジル), Mr. Adrian O'Connell (豪), Mr. Ridzwan Kasim (マレーシア), Mr. Anton Shalaev (ロシア), Mr. Jin Su Chun (韓)
- ISO中央事務局 : Ms. Sophie Clivio, Ms. Belinda Cleeland 他
- IEC中央事務局 : Mr. Jack Sheldon

コミュニケーションとアウトリーチ

- これまでに2回のワークショップ、5つのケーススタディ等を実施。
- サービス規格のメリットが分かるケーススタディ、関係者巻き込みのための「サービスキット」を中央事務局が実施・作成。

市場の関心の理解

- サービス貿易における国際規格の経済的重要性の分析を中央事務局が実施。

HL7による標準（医療情報交換の標準規約）とTC215（医療情報）との協カプロジェクトが2002年から存在

- カテゴリー Aリエゾンやファストトラックの仕組みを用いることにより、効果的な連携は可能。
- 現時点ではHL7とのPSDO協定は必要なく、2002年に始まった協カのためのパイロットプロジェクトを終了する。〈TMB決議 71/2017〉

TMB・TFの活動状況(A.I. 3.2.2, 3.2.4, 3.2.5)

第68回TMB会合（2017年3月）で設置された3つのタスクフォース（TF）の活動状況

- IECとのより効果的な協力TF（英リード）
 - IEC/SMBの提案を受け、ISO、IEC、ITUの3機関による連携を図ることを確認。IECとITUに対して、7/31までに参加者を推薦するよう要請。〈TMB決議 72/2017〉
- ISO規格開発におけるプロジェクトマネジメントTF（豪→独・仏リード）
 - 豪に代わり、独・仏が共同コンビナーとなることを決定。〈TMB決議 74/2017〉
- プロジェクトベースでのISO規格開発アプローチTF（米リード）
 - 当該アプローチのコンセプト（F to Fでの会合を実施せず、バーチャル空間を活用することにより、規格開発にかかる時間及びコストを削減する）を確認。TFの名称は“ISO Virtual Standards Development Process”となった。

4つの推奨事項を含むSAGの最終報告書を受理し、解散。 <TMB決議 75/2017>

- 推奨事項 1 : Technical Committeeの設置。(→英BSIが提案)
- 推奨事項 2 : 9つのワークプログラム
 - ①Vocabulary Standard, ②Dementia, ③Ageing Workforce,
 - ④Health promotion and preventative care in older age,
 - ⑤Social connectedness, ⑥Informal carers,
 - ⑦Universal design standards, ⑧Accessibility standards,
 - ⑨Technologies and systems for an ageing society
- 推奨事項 3 : 戦略的ビジネスプラン策定のためのアドホックグループ設置。
- 推奨事項 4 : ステークホルダーの巻き込み及び、既存の活動との連携を図るためのアドホックグループの設置。

会議後の調査についての評価 (A.I. 4.4)

- ISOの各委員会へのフィードバックメカニズムを維持する必要性を認識。
- ISO事務局IT部局へ、参加者のフィードバックメカニズムを含む現在のISO会議(ISO Meetings)ツールを拡大することを要求。
- フィードバックは、委員会幹事とISOの会員団体に直接的に送られるようにする。

<TMB決議 76/2017>

- アドホックグループによる報告書は、TC207関連の標準が貿易障壁を作るという証拠は一切ないことを示している。
- ISO規格は、貿易を促進する手段であることを再認識する。
- 今後TC207において懸念事項が生じた場合は、ISO事務局に報告するよう指示し、アドホックグループを解散する。

<TMB決議 77/2017>

新規提案項目の概要 (A.I. 5.3.1)

第68回TMB会合（2017年3月）以降の新規提案

Established	Proposer
TMB/NP Vulnerable Consumers	COPOLCO

Under member body ballot	Proposer	Closing date
TS/P 266 Excellence in Service	DIN (Germany)	2017-08-04

Failed	Proposer	Result
TS/P 265 Gold	SAC (China)	Failed (did not meet the requirement for 2-3 approval votes but met the requirement for 5 P members)
NWIP Guidelines on integrating a Business Excellence Framework with ISO management system standards	SCC (Canada)	


JTC1 PASプロセスにおけるIPR Policy (A.I. 7.1)

- JTC1のPASプロセスにおけるISO/IEC IPRポリシーの取扱いについてようやく結論が出され、PASプロセスにおいても同IPRポリシーが適用されることが確認された。
- したがって、現行のJTC1 SD9の7.3.3項は削除し、「JTC1 PASプロセスにおいてもISO/IEC IPRポリシーが適用される。」と記述（ISO/IEC 専門業務用指針の該当箇所へのリンクを含む）することとする。

<TMB決議 78/2017>

発展途上国×先進国による“Twinning”の意義と、新たな“Partnership”の構築の可能性について議論。

- 検討事項 1 : 「資格」と「条件」 (例 : Pメンバー、期間の制限、目的の明確化)
- 検討事項 2 : 「役割」と「責任」 (例 : 委員会活動への貢献、ベストプラクティスの共有)
- 検討事項 3 : 「種類」 (例 : Pメンバー間 (含代理投票権) 、共同コソビナー、共同議長、共同幹事)
- 検討事項 4 : 「進捗管理の方法 (KPIの設定) 」

 ブレーンストーミングのためのワークショップを実施

4段階の委員会構造に関する分析(A.I. 8.1.1)

DMT会合（2016年12月）において、独DINが、ISOと外部サーバーとの整合性を確保するため、ISOにおける4段階目の委員会構造の導入を要請。

- ISO中央事務局による検討結果は、4段階目の委員会構造の導入のためにはISOのあらゆるシステムの改修を必要とし、多大なコストを要するとしている。
- 議論の結果、結論は2019年まで先送りすることとし、現在進行中の新規標準開発プラットフォームプロジェクトの中で見直していくことを決定。

<TMB決議 79/2017>

タスクフォースは、5つの推奨事項を提言して解散。

- 推奨事項A：ISO規格（及びISO/IEC発行物）の国家採用データをISOウェブサイトに掲載し、一般公開。
- 推奨事項B：各メンバーによる年度更新の仕組及びISO事務局による報告を実行。
- 推奨事項C：「ISO/IEC国家採用データベース」において、ISOメンバーによるデータ提供が、「質」及び「量」の両面で優れたものとなるような管理ツールを開発。
- 推奨事項D：ISO/IEC国家採用データベースの現行運用モデルを確認。
- 推奨事項E：CPAG に国家採用データの利用に関する市場ニーズの調査を要請。

<TMB決議 81/2017>

御清聴ありがとうございました

経済産業省 ～「標準化・認証」の紹介ページ

<http://www.meti.go.jp/policy/economy/hyojun/kijyun/index.html>

日本工業標準調査会ホームページ

<http://www.jisc.go.jp/>